
令和4年度 湯沢市の財政状況

(令和5年3月31日現在)

湯沢市財政状況の公表に関する条例に基づき、令和5年3月31日現在の令和4年度の財政状況を公表します。

※ 金額は令和5年3月31日現在のもので、決算額とは異なります。

【担当】 総務部財政課

一般会計 歳入予算の執行状況

令和4年度予算に対する歳入の執行状況です。（令和5年3月31日現在 予算に対し、どのくらいの収入があったかを表しています） ※繰越明許費、継続費逡次繰越を含む

地方公共団体が一定の水準の事務を行えるよう国が交付するお金です。

地方交付税



国から収入する負担金や補助金などです。

国庫支出金



市民の皆さんや市内に事務所を持つ法人などに納めていただく税金です。

市税



県から収入する負担金や補助金などです。

県支出金



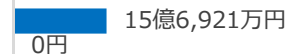
資金を調達するための借入金のこと、複数年度で返済します。

市債



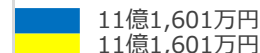
主に基金を取り崩して一般会計へ繰り入れるお金です。

繰入金



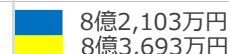
県が徴収した地方消費税を一定の配分により市町村へ交付します。

地方消費税交付金



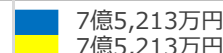
他の収入科目に該当しない収入で、預金利子、貸付金元利収入、雑入などがあります。

諸収入



前年度の決算で余ったお金です。

繰越金



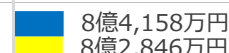
寄附を受けたお金です。

寄附金

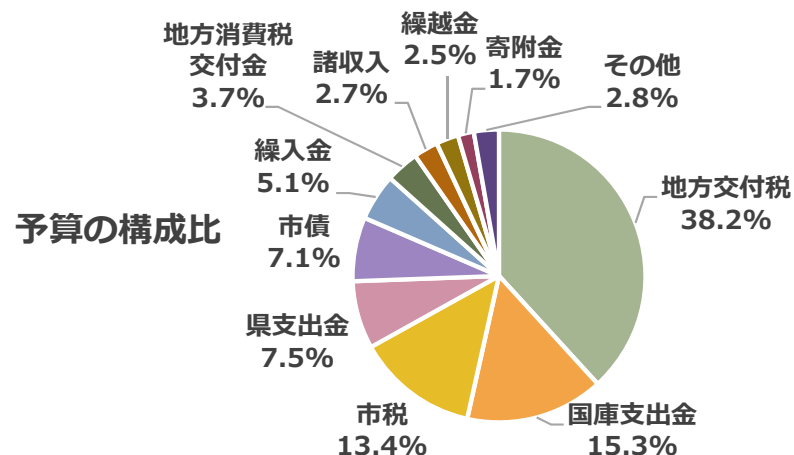
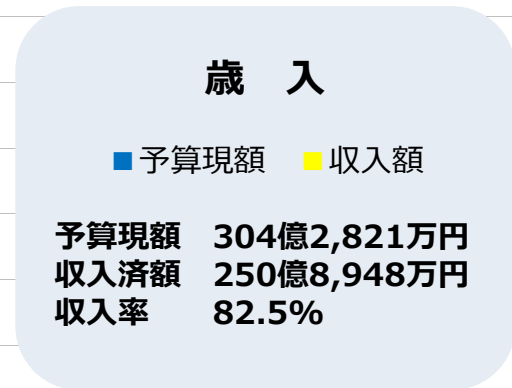


※1 下記収入金の合計です。

その他



※1 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入



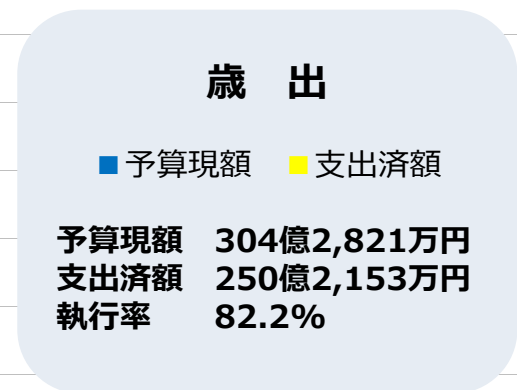
自治体の会計年度は4月1日から3月31日までですが、地方自治法により5月31日まで収入、支出に関する事務整理期間が設けられており（出納整理期間）、年度の決算額は出納整理期間後に確定します。



一般会計 歳出予算の執行状況

令和4年度予算に対する歳出の執行状況です。(令和5年3月31日現在 ※繰越明許費、継続費逡次繰越を含む)
 予算に対し、どのくらいの支出があったかを表しています。

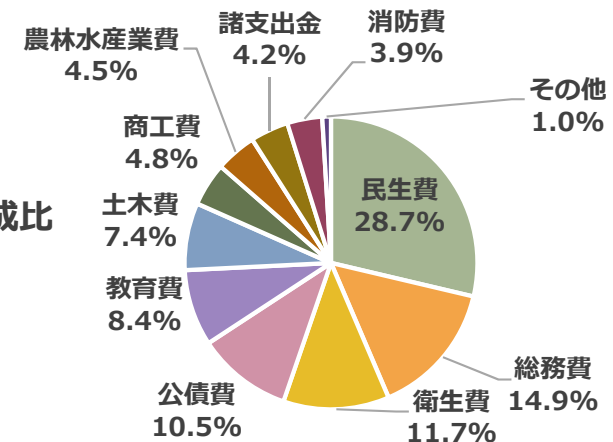
高齢者・障害者・児童などの福祉の増進に必要な経費です。	民生費	87億2,923万円 70億8,051万円
住民票や戸籍、税務、選挙など市の全般的な運営に要する経費です。	総務費	45億2,909万円 36億7,601万円
健康診断やごみ処理など、保健や環境衛生のための経費です。	衛生費	35億5,752万円 33億1,550万円
市の借入金の返済金です。	公債費	31億9,851万円 31億9,742万円
学校教育や社会教育などに必要な経費です。	教育費	25億6,661万円 22億9,641万円
道路や橋、公園などの整備やまちづくりに要する経費です。	土木費	22億6,070万円 14億9,375万円
商工業や観光の振興などに必要な経費です。	商工費	14億5,684万円 13億7,647万円
農林業・畜産の振興や基盤整備などに必要な経費です。	農林水産業費	13億8,028万円 12億454万円
基金への積立金や繰出金です。	諸支出金	12億8,093万円 351万円
消防団の活動、災害対策などに必要な経費です。	消防費	11億7,650万円 11億2,352万円
議会費、労働費、予備費、災害復旧費の合計です。	その他	2億9,200万円 2億5,389万円



3月末の事業終了により確定される経費や最終的な収支の見込みで金額を確定し支出する経費など、出納整理期間に支払う経費が多い項目は、3月末時点での執行率が低くなっています。



予算の構成比



市税の収入状況

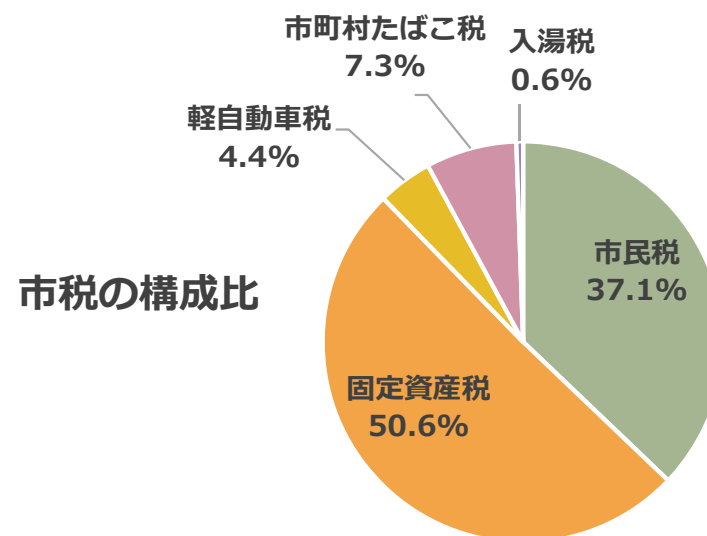
令和5年3月31日現在の市税の収入状況です。

区分	予算現額	収入済額	収入率
市民税	15億1,830万円	15億5,170万円	102.2%
固定資産税	20億6,737万円	21億328万円	101.7%
軽自動車税	1億8,014万円	1億8,036万円	100.1%
市町村たばこ税	2億9,988万円	3億830万円	102.8%
入湯税	2,273万円	2,351万円	103.4%
合計	40億8,843万円	41億6,716万円	101.9%

市民1人当たり負担額

9.9万円

※ 住民基本台帳人口（令和5年3月31日現在）41,130人



市債の状況

令和5年3月31日現在の借入金残高の内訳です。

区分	残高	備考
一般会計	282億6,149万円	
特別会計	1億4,920万円	皆瀬更生園特別会計
公営企業会計	137億888万円	水道事業会計、下水道事業会計
合計	421億1,957万円	

市民1人当たり負担額

102万円

※ 住民基本台帳人口（令和5年3月31日現在）41,130人

市債は、公共施設などを造るために国や金融機関から借り入れたお金です。
複数年にわたって返済することで施設を使う次の世代にも費用を負担してもらうことになり、世代間の負担を公平にすることができます。



特別会計の執行状況

令和4年度予算に対する歳入・歳出の執行状況です。（令和5年3月31日現在）
予算に対し、どのくらいの収入・支出があったかを表しています。

会 計	予算現額	収入額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険特別会計	48億9,160万円	46億7,298万円 (95.5%)	43億4,457万円 (88.8%)
後期高齢者医療特別会計	6億767万円	5億5,788万円 (91.8%)	5億9,485万円 (97.9%)
介護保険特別会計	57億2,342万円	46億7,112万円 (81.6%)	49億9,493万円 (87.3%)
養護老人ホーム愛宕荘特別会計	2億7,150万円	2億3,832万円 (87.8%)	2億4,985万円 (92.0%)
皆瀬更生園特別会計	4億1,633万円	2億4,066万円 (57.8%)	4億268万円 (96.7%)
湯沢財産区特別会計	3,112万円	3,111万円 (99.9%)	15万円 (0.5%)
院内財産区特別会計	4,523万円	4,306万円 (95.2%)	1,125万円 (24.9%)
秋ノ宮財産区特別会計	1,986万円	1,995万円 (100.5%)	344万円 (17.3%)

保険料や使用料など特定の収入によって運営する事業の会計を特別会計といいます。
事業ごとの収支を明確にするために、一般会計と区別して経理しています。

